

月刊 女性潮流研究所

読むだけでトレンド分析力がアップする！
女性関連ビジネス担当者のためのお仕事サポート情報誌

2018年11月25日発行
Vol.157



今月のPick Up Magazine ~雑誌数84誌/見出し数1545本~ *初出誌

ar/up plus/anan/andGIRL/&Premium/&ROSY/InRed/25ans/ViVi/with/VERY/
VOGUE JAPAN/VoCE/eclat/Scawaii!/ESSE/ELLE japon/oz magazine/Oggi/
大人のおしゃれ手帖/オトナMUSE/ONKUL/家庭画報/からだにいいこと/CanCam/
GINZA/CLASSY./GLITTER/CLUEL/CREA/GLOW/クロワッサン/kodomoe/
サンキュ!/JJ/JELLY/GISELe/SPUR/GINGER/Sweet/steady./STORY/SPRING/
CHANTO/天然生活/Domani/nicethings/NYLON JAPAN/日経WOMAN/日経Health/
Numero TOKYO/NAVYS*/non-no/PERK/HERS/Harper's BAZAAR/BAILA/Hanako/
bis/美人百花/美ST/美的/美Premium/FUDGE/FIGARO japon/婦人画報/婦人公論/
FRaU/PRESIDENT WOMAN/Precious/Mart/MyAge/MAQUIA/Marisol/ミセス/
mina/mini/Milk&Honey/mer/MORE/LOVEgg/LEE/リンネル/Ray

2018年11月のトレンド分析カチェック問題

解答はこちら！

Q1：「美人」「きれい」「オシャレ」が最終目標じゃないそのあとの〇〇〇〇〇〇が知りたい

A：???

Q2：共感と呼ぶためのリアル表現のためには「〇〇〇たい人のリアル」と「〇〇〇たくない人のリアル」を使い分ける必要がある。

A：???

Q3：「トレンドファッションの合格点」が簡単に出来る今の時代に注意すべきなのは、おしゃれと〇〇〇〇〇〇人とおしゃれに〇〇〇〇〇〇人の2種類がいること

A：???

Q4：男ウケ重視のあざとい系女子の目指すべき顔は？

〇顔や〇〇顔

A：???

Q5：今年ヒットした食の特徴は「〇〇〇」+「〇〇〇」+「〇〇」

A：???

Q6：インスタ流行によって「視覚欲求」が高まったが、その反動で「〇〇欲求」が注目されている。

A：???

Q7：世代によって未来のとらえ方が違う。20代は〇〇〇〇、50代は〇〇の〇〇〇

A：???

<かゆいところに手が届く 特別企画>
 2016~2018年 女性誌創刊/休刊/リニューアルまとめ
 (2018.11更新)

2016年

| | |
|-----------------------|--|
| 創刊 | MERY/LaLaBegin |
| 休刊 | AneCan/SEDA/L'OFFICIEL Japon /GOLD/ROLa/SAKURA/VOGUE girl/ELLE girl/MERY |
| 発行形態変 更・リニュー アル | Ranzuki…ネット移行 ku:nel…リニューアル |

2017年

| | |
|-----------------------|--|
| 創刊 | &ROSY/bis/OWN/my goodies/ YOLO style/ihana |
| 休刊 | Zipper/bea's up/oz plus/Como |
| 発行形態変 更・リニュー アル | 小悪魔ageha…出版元倒産・ライセン ス移譲等を経て2誌に分裂 KERA…紙媒体休刊 Soup…紙媒体休刊→ネット移行 →Soup.Plus発行→Soup.再創刊→休 刊? |

2018年

| | |
|-----------------------|---|
| 創刊 | Milk&Honey/LOVEggg/ CR FASHION BOOK/NAVYS←new! |
| 休刊 | vikka |
| 発行形態変 更・リニュー アル | bea's up…Up PLUSとしてリニューア ル 装苑…月刊から隔月刊に おとなスタイル…季刊から随時刊行に FRaU…ムック&ネット移行 |

テキスト マイニング編

計量分析(KHcorderによる) 前年比較 (201811)

<11月>

2017年は「お金」「最新」「簡単」「コーデ」

2018年は「使える」「人気」

<10月>

2017年は「トレンド」「流行」「選ぶ」

2018年は「好き」「新しい」「人気」「似合う」

<9月>

2017年はメイク中心にアイテム、ブランド

など興味はモノ寄り

2018年は「知る」がさまざまなジャンルで他出するようになっている。

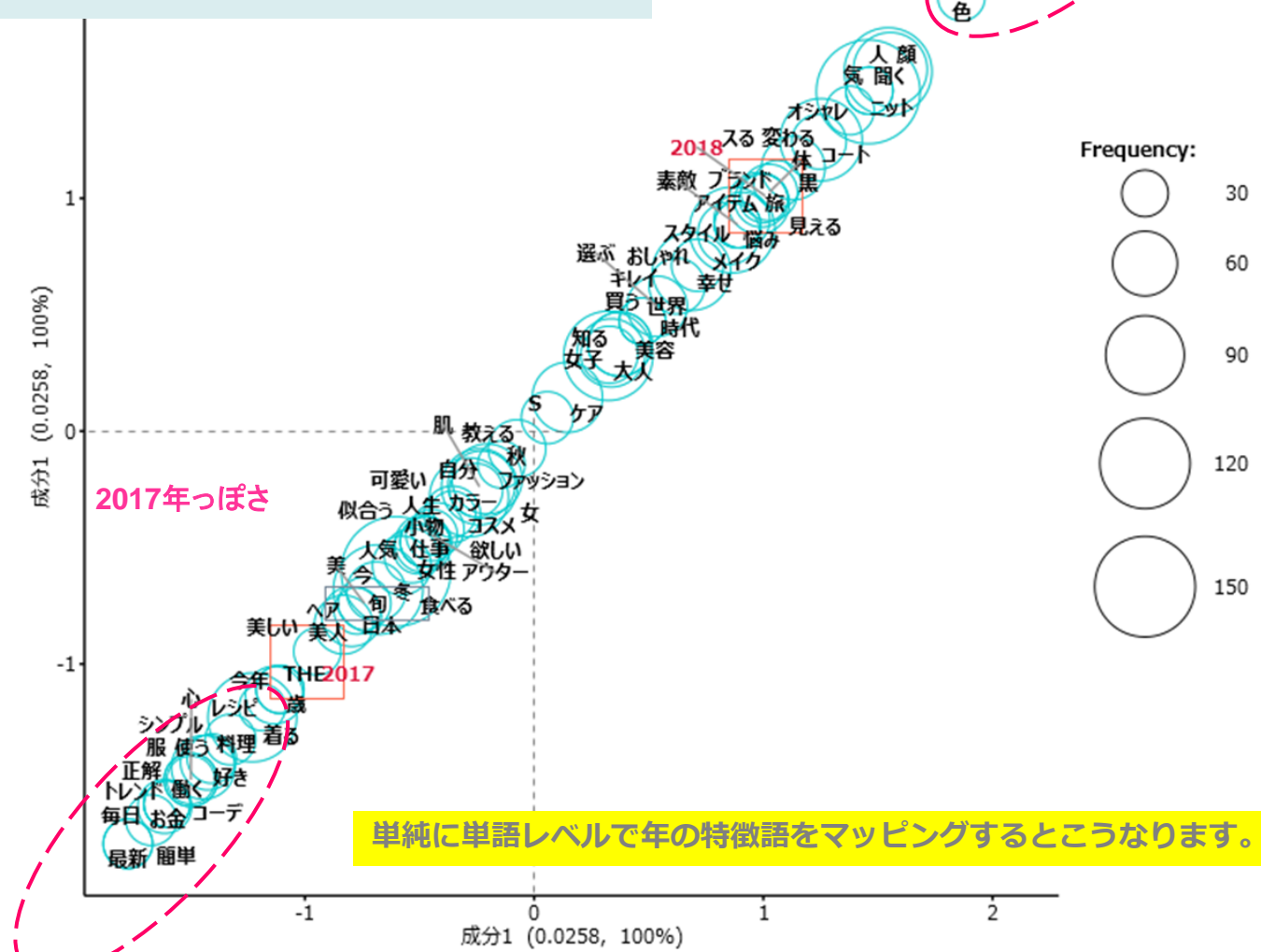
<8月>

意識がモノではなく自分に向いていた。

<7月>

インスタ・美容に対する熱は去年と比べて冷めていた。

2018年っぽさ

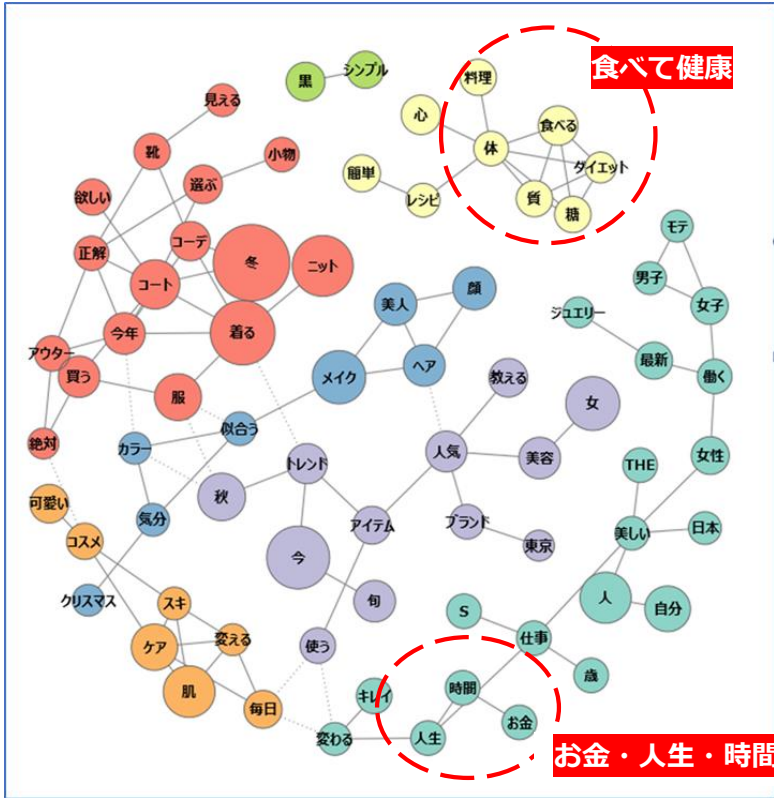


単純に単語レベルで年の特徴語をマッピングするとうようになります。

0軸に集まっているのは共通語

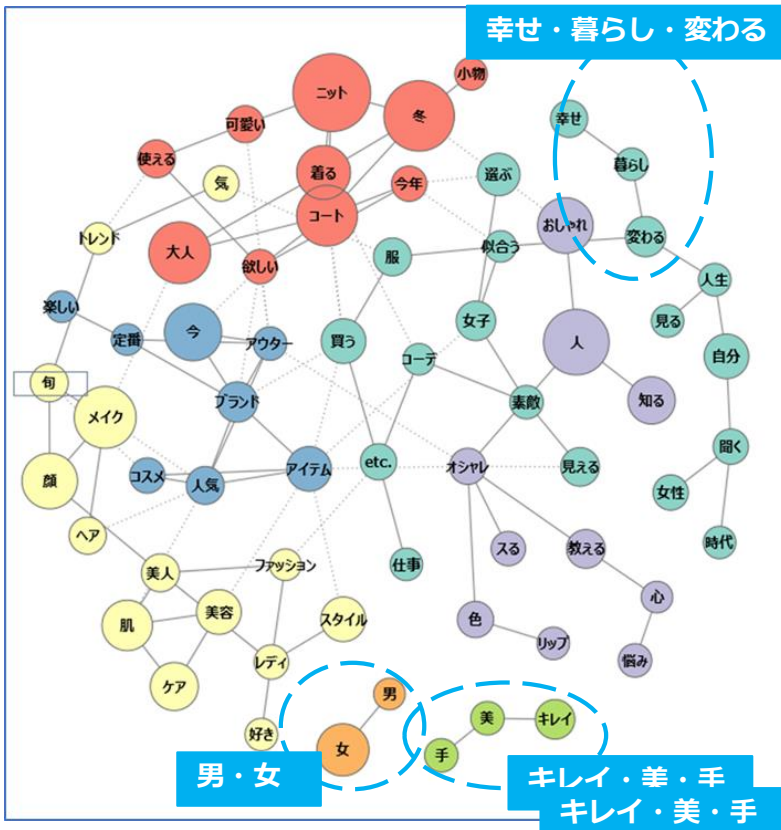
0軸から離れるとそのカテゴリーの特徴語になります。

2017年11月



2018年の関心ゴト
男・女
手の美しさ
が去年はなかった傾向

2018年11月



2017年の関心ゴト
食べて健康
お金・人生・時間

去年よりは
生活に余裕のある
気分????

女性潮流研究所 今回のキーワードまとめ

キーワード①「〇〇になりたい！」

「美人」「きれい」「オシャレ」が最終目標じゃない
そのあとのベネフィットが知りたい

キーワード②リアル追求の時代

「頑張りたい人のリアル」と「頑張りがたくない人のリアル」がある

キーワード③洒落る

「トレンドファッションの合格点」っていうのは、簡単に出せる時代

キーワード④あざといモテ論

より良いオスをゲットして安心安全な人生に

キーワード⑤今年の食ブーム

ヒットしたのは「見た目」+「合理性」+「品質」

キーワード⑥「視覚欲求」から「体感欲求」へ

つぶし、ひねり、ゴリゴリ、ぐりぐり、痛いくらいがちょうどいい

キーワード⑦危機管理意識

50代と20代、未来への想いの違いとは

<業界別おススメ記事はこちら>

- 化粧品業界の方は、キーワード①②④⑥⑦
- ファッション業界の方は、キーワード①②③④⑦
- 食業界の方は、キーワード②⑤⑥⑦
- ライフスタイル業界の方は、キーワード①②④⑤⑥⑦
- すべての業界の方が要チェック キーワード①②⑥⑦

女性潮流研究所 メンバー



H瀬女性潮流研究所 所長
総合分析を担当



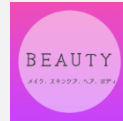
N松 女性潮流研究所 副所長
メジャーからマイナー界まで幅広くウォッチ。



P田 女性潮流研究所 客員研究員
ハイブランドからリアルトレンドまで網羅。女性誌エディター

2018年11月

キーワード①「〇〇になりたい！」



- ◆第1印象で同じ顔レベルの女を出しぬく10の方法(Scawaii!12月号)
- ◆欲しいのは美人力より印象力(HERS11月号)
- ◆全部流行のメイクにするのはしんどくても、これ1本あれば見違えます 「自分の顔見飽きた」に、セミマットリップが効く!(STORY12月号)
- ◆「具合悪そう…」から「健康的！」に改善実は使える！無印良品の「色ものコスメ」(Mart12月号)
- ◆人生やること満載で、自分に時間をかけられない ーでもキレイでいなきゃいけないから！ “時短なのに丁寧”な美容がある(美ST12月号)
- ◆忙しくても、いくつになっても美しく！ 神崎恵さん、くびれ母ちゃん、田中亜希子さん、グレーヘアのあの人が登場！「キレイな母ちゃん」の作り方(ESSE12月号)

2018年11月①「〇〇になりたい！」

「美人」「きれい」「オシャレ」が最終目標じゃない
そのあとのベネフィットが知りたい



H瀬●今回は、**全体的に、現実的**なのが目につきました。



P田●今月は最初から最後まで、妙に現実的でしたね。ほんとに。ファッションでも美容でも、秋真っ盛り、新色やクリスマスコフレというキラキラ時期なのになぜ…。といって、テンション低い、っていうのとはちょっと違う感じもするけれど…。



H瀬●はい、テンションはむしろ高い。一個めのキーワードは、「〇〇になりたい！」ですが、**今の女性は「美人になりたい」「可愛くなりたい」「綺麗になりたい」っていうのだけでは響かない**。じゃあ、どうやったら共感できるのか？ヒントになる見出しがいくつかありましたよ。

◆全部流行のメイクにするのはしんどくても、これ1本あれば見違えます 「自分の顔見飽きた」に、**セミマットリップが効く！**(STORY12月号)

って、すごい新鮮じゃないです??



P田●例えば、「今年は、**セミマットリップがおしゃれっ！**」と言われてもピンとこないかもしれない。でも、「自分の顔見飽きた」に効くって言われると欲しくなるかも。メイクのトレンドがちょっと落ち着いている今だから特に、というのもあるかと思いますが、**雑誌の切り口がリアルになっている現象**はありますよね。(美容ジャンルのみならず)。前も話題になったけれど**SNSのキラキラと反比例するかのようにリアル**。「で、**そのトレンドおいしいの？私にとって**」というのがすごく色濃く出てますね。



H瀬●そうそう、今年くらいから感じるのですが「**トレンド**」とか言われても「**へーそうですか**」**みたいに流されちゃう**。そんな意味でさらにインパクトあったのはこちら、

◆**第1印象で同じ顔レベルの女を出しぬく10の方法**(Scawaii!12月号)



P田●「自分の顔見飽きた」くらいなら何となく想像できるところだったけれど、「**同じ顔レベルの女を出し抜く**」って、それは思いつかなかった…。

高いんだか低いんだか分らない志のリアルさよ。すごい美人にはかなわないけど、同じ顔面レベルなら出し抜きたい！という。



H瀬●なんか「**顔面偏差値**」っていう言葉、使われるようになりましたよね。とはいえここは相当イキってる層に共感されることだとは思。ごくごく普通の女性がグッと来そうなのはこれかな？

◆「**具合悪そう…**」から「**健康的！**」に改善実は使える！無印良品の「**色ものコスメ**」(Mart12月号)

2018年11月①「〇〇になりたい！」

「美人」「きれい」「オシャレ」が最終目標じゃない
そのあとのベネフィットが知りたい



P田●トレンドだから、おしゃれだから赤いリップを買いましょう、って言われても1本買えばいいし、それで自分がキレイになるだろうか…。というと少々弱い…。美容好きな人、ファッション好きな人はそれでいいかもしれないけれど…。という「普通なんで私」の人に気付き、そして購入動機を与えるようなリアルなワードが増えていきますね。



N松●私たちが真に求めているのは、キレイになったら得られる「ベネフィット」なんですよね。モテるとか強く印象づけるとか。写真の修整や詐欺メイクで、誰でも「まあまあ美人」ぐらいにはなれてしまう今、花より実を取るじゃなくて、実がつかない花(=ただの美人)ならむしろいらないかも、という気持ちさえあったりするんじゃないでしょうか。キャラ立ちの時代だから、ただ美人なだけでは間が持たない。イケメン俳優とかでそういう人いますよね。特技もなく、面白いとも言えないから、見てくれの良さだけが過大になって「ムダにイケメン」「残念なイケメン」と言われちゃう人(笑)。ビジュアルが美しいことは単に芸の一つ、ぐらいな時代ですね。求められるのは、「美人な上、xx」とか「美人だけど、xx」のように多層的であることかもしれませんね。



H瀬●例えば、こんな感じのが多層的ですね。

◆欲しいのは美人力より印象力(HERS11月号)

◆忙しくても、いくつになっても美しく！ 神崎恵さん、くびれ母ちゃん、田中亜希子さん、グレーヘアのあの人が登場！「キレイな母ちゃん」のつくり方(ESSE12月号)

◆人生やること満載で、自分に時間をかけられない ーでもキレイでいなきゃいけないから！ “時短なのに丁寧”な美容がある(美ST12月号)



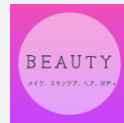
N松●「忙しいのに美人」「母なのにキレイ」…って、「忙しい人や母親はキレイじゃないのが普通」、というのが暗黙の前提あつてのコンセプトですよね。それはそれで失礼な話なんだけど、逆に、ちょっと気をつければ「意外性バイアス」によって、とてもキレイな人ってことになれたりもするわけで。ピンチをチャンスに、的な。そう考えると美人とかキレイって、実体がないものかも。ただの美人、ただのオシャレさん、だけでは成立しない。



H瀬●「で、どうなるの？」ってところまですくいとることが必要だから、マーケターは今までよりも一歩先まで可視化・言語化する必要がありますね。

2018年11月

キーワード②リアル追求の時代



- ◆うっかり自撮りが教えてくれる“未来顔”対応ケア(BAILA11月号)
- ◆お仕事は“キープ力重視”、休日は“華やか重視”憧れ職業別「ON・OFFメイク」を拝見♪ 働くレディのTPOメイクとポーチの中身(美人百花11月号)
- ◆見えない、巻けない、腕が疲れる… ヘアアレンジ、「後ろがうまくできない問題」を解決！(andGIRL11月号)
- ◆今田美桜主演 照れないスカーフ、浮かないネックレス(MORE12月号)
- ◆「また着てる」って言われられないベーシックさが必要です 大人のチェックコートは“無地見え”が正解(CLASSY.12月号)
- ◆はまじ×村山佳世子さん「デニムは最旬じゃなくてもいいんです」(LEE12月号)
- ◆賢く買い物したいJJガールは、どっちも知りたい！ おしゃれな先輩が安くても買う服、気になる同世代が高くて買う服。(JJ12月号)
- ◆2万円台以下で華やぐ「女子会コート」(BAILA11月号)
- ◆素敵なブランドの「普通のコート」(BAILA11月号)
- ◆賢い「買い足し」で、今ある服を永遠着倒す！(non-no12月号)
- ◆おっぱいが崩れてきた！ お尻が四角い！ お腹が凹まない！！ 首にシワが！！ 全身の「緩み」もなかったことに！ 100問100答(美的12月号)
- ◆ちら見え白髪、うねり、パサつき、ボリューム不足……5歳若く見える人は「ヘアスタイル」に秘密があった！(サンキュ！12月号)
- ◆脳のアンチエイジングで人生の後半が楽しくなる 40代は「思秋期」“顔”より“心”から老けていく(美ST12月号)
- ◆読者アンケート結果発表！ 夫の収入、容姿、子ども… ああ、かくも世の中は不公平——。あの人と「差」を感じるのは(婦人公論10/23号)
- ◆ユニクロ・無印良品・プラステの「家族の服」&「仕事の服」(LEE12月号)
- ◆極寒のなか、早朝出勤でも、自転車でお買物でも、終日グラウンドで応援でも、いつだって優雅にオシャレでいたいから ダウンを手に入れて、この冬私たちはプロ40代になる！(STORY12月号)

2018年11月②リアル追求の時代

「頑張りたい人のリアル」と「頑張りがたくない人のリアル」がある



H瀬 ● 「雑誌とは、消費を煽るために非リアルな提案をするもの」と考えられていますが、最近が変わってる気がするなあと思ったのが今回取り上げた見出しです。



P田 ● その件について「うーん、そっかあ」と思うことが最近ありました。「雑誌のリアルって、やっぱりリアルじゃないなあ、でもそれって当たり前じゃない？」って暗黙の了解かと思ったんですが、今の人って違うんですよね。小学館の働く女性向け雑誌がヤフーに転載されていて、確か着まわし特集だったかと思いますが、そこについてのコメントが、「00代の女性がそんなライフスタイルなわけない」「どんな仕事（苦笑）」「現実的じゃない」うーん、なんかここに上手く再現できないくらいのコメントで、雑誌作ってるのが怖いなあって言う気持ちになりましたし、そんなにむきにならずとも…と思ったんですよね。リアルなリアルって怖いし、そんなんだと雑誌作れないし。とそんな中で今月は「リアルなリアル」「私たちが気付いてさえいないリアル」な特集をしているなあと思いました。



H瀬 ● 私が特に気になったのは、
◆ 見えない、巻けない、腕が疲れる… ヘアアレンジ、「後ろがうまくできない問題」を解決！(andGIRL11月号)
◆ 今田美桜主演 照れないスカーフ、浮かないネックレス(MORE12月号)
◆ 「また着てる」って言われないベーシックさが必要です大人のチェックコートは“無地見え”が正解(CLASSY.12月号)
◆ はまじ×村山佳世子さん「デニムは最旬じゃなくてもいいんです」(LEE12月号)
「ヘアアレンジで腕が疲れる」とか、いやいやそれって我慢前提でしたよね。それも嫌なの??
そして、「これは照れないスカーフですよ～」 「浮かないネックレスですよ～」まで説明してくれないと、一般の子は手を出さないのか！と膝打ち。
あと、「また着てるって言われないようにするコート」「デニムは最旬じゃなくていいんです」とか、**ものすごく目線が低いレベル**になってますよね。



N松 ● 某通販のアイデアアイテムっぽい見出しがたくさん。自分でも気づかなかった「困りごと」「かゆいところ」に、解決策(アイテム)を出すことで初めて気づかせる。あ～確かにココがこうだと助かるわ～と。無意識のうちに不便でストレス感じてたんだわと。悩みを解決というほど大げさなことではないし、困りごととしてニッチではなくむしろあるある。リアルなあるあるなのに顕在化していなかったこと。

2018年11月②リアル追求の時代

「頑張りたい人のリアル」と「頑張りがたくない人のリアル」がある



P田●リアルでありつつ、「体型カバー」とかじゃないんだなとも思いました。目線は低くとも、目指しているのはちょっとおしゃれなところかな？例えば、

◆素敵なブランドの「普通のコート」(BAILA11月号)

でもプチブラの普通のコートだと上がる要素が一つもない、ってことですね。って思うと角度は上なのか？と思ったけど、美容は高みを目指さない感じ。

◆おっぱいが崩れてきた！ お尻が四角い！ お腹が凹まない！！ 首にシワが！！

全身の「緩み」もなかったことに！ 100問100答(美的12月号)

◆ちら見え白髪、うねり、パサつき、ボリューム不足……5歳若く見える人は「ヘアスタイル」に秘密があった！(サンキュ！12月号)

お尻が四角い…髪のうねり…。でも、対策もその数だけ出てきているということだなと思うとすごい。



N松●この辺り、想定するターゲットが30代以上の見出しだからかもしれませんよね。

若者に関しては、見た目に関することには超熱心だけど、方向性が今までのワカモノとは違いますね。成分にもこだわってスキンケアに注力という方向ではなく、写真や動画で可愛く見える角度やポーズやアプリにこだわる、という方向だったり。でもそれ以外のことは別に頑張らない、とか割り切っている感じがありますね。



H瀬●確かに、前述の「腕が疲れるからヘアアレンジ嫌」「照れるスカーフは嫌」「浮くネックレスは嫌」まで説「また着てるって言われるコートは嫌」「最旬デニムを追うのは嫌」と、**全て無理して頑張ることないよね～っていうインサイトを**ビシバシと感じる。



N松●今年は全般的に「頑張らない」のが良いというトレンドが続きましたが、それは若い人よりも、むしろ**頑張るのが当たり前として育ってきた人たち(今の30代以上)にこそ響くコンセプト**だったのかも。

ヒトやシーンの実例が挙げられている見出しの、リアリティの強さが印象的でした。

◆3男1女 子だくさんアラフォー母の ていねいに暮らす暇はなくても“きれい”の秘密(サンキュ！12月号)

◆極寒のなか、早朝出勤でも、自転車でお買物でも、終日グラウンドで応援でも、いつだって優雅にオシャレでいたいから ダウンを手に入れて、この冬私たちはプロ40代になる！(STORY12月号)

4人も子供がいる(男子3人という内訳もリアルすぎる!)アラフォーだったら、キーワード①の話と被りますが、失礼ながらキレイじゃなくてもまったくおかしくない。終日グラウンドで子供のサッカーかなんかの応援なら、優雅でおしゃれじゃなくてもまったくおかしくない。…などなどなど、誰か他人が言ってくれる分にはいいのですが、自分でそういう状況を免罪符にしているキレイじゃない母親、いっぱいいます。というより、それが母親、みたいな世の中の認識もある(おしゃれをしたら、「いい年して、母親なのにチャラチャラして」とか言われるのがリアルなところ)。

「頑張らない」のがいい…というトレンドではありましたが、ある程度の年齢やライフスタイルの人にとっては、**頑張らないのもいいけど、頑張るともったいい、ということが絶対ある**と気づきだしていますよね。

2018年11月②リアル追求の時代

「頑張りたい人のリアル」と「頑張りがたくない人のリアル」がある



H瀬●なるほど、同じリアルでも、「**頑張りたい人のリアル**」と「**頑張りがたくない人のリアル**」って違うんですね。マーケターはまずそこを間違わないようにしないとイケないですね。ここ本当に重要！

2018年11月

キーワード③洒落る



- ◆お洒落業界人編 コーディネートがより素敵に見える 「洒落顔」を作る最旬カラー (&ROSY12月号)
- ◆シンプルニットの日在即、洒落るには…？ でかイヤリングとメイクのイイ関係。(SPRING12月号)
- ◆服オタが本気で選定！ このコートがすごい！大賞(SPRING12月号)
- ◆洒落エロなマギーから目が離せない！(SPRING12月号)
- ◆「みんなと同じ」に甘んじて、無難なコーデに逃げるのはやめよう “キレイめ”だけじゃ物足りない！(GINGER12月号)
- ◆誰かの目より気持ち優先！ 「自分スタイル」は自由でいい マギー／近藤千尋／伊藤千晃／高橋愛(GINGER12月号)
- ◆オシャレな人が伝授する「100円ショップ」活用法(InRed12月号)

2018年11月③洒落る

「トレンドファッションの合格点」っていうのは、簡単に出せる時代



H瀬●これ、キーワード①の「美人、キレイになりたいわけじゃない」とも被ってくるんだけど、オシャレにも同じようなことが起きてるんですよ。目線低くなってるから、オシャレの方も控えめ。オシャレになるとかじゃなくて「洒落る」とかになっている。

◆お洒落業界人編 コーディネートがより素敵に見える 「洒落顔」を作る最旬カラー (&ROSY12月号)

◆シンプルニットの日には即、洒落るには…？ でかイヤリングとメイクのイイ関係。(SPRING12月号)

◆洒落エロなマギーから目が離せない！(SPRING12月号)



P田●雑誌を作っていると、人はおしゃれになりたいものと無意識に考えてしまいがちですが、「おしゃれ」って人は言われたいのか、おしゃれになりたいのか、というのは常に立ち止まって考えねばなと思っているところなのですが、これを見ていると本当に無意識におしゃれを追及してはいかんかと改めて感じました。



H瀬●あと、オシャレな人とかファッションistaじゃなく「服オタ」という表現が。

◆服オタが本気で選定！ このコートがすごい！大賞(SPRING12月号)



N松●「××オタ」というと、偏った感じだったりサブカル系なイメージがあるので、SPRINGに「服オタ」というワードが出ているのが意外な感じですが（SPRINGという雑誌のキャラとしては、トレンドを追うよりも好感度を重視する「ほどほど」タイプなので）。この次の1月号でも使われているので、しばらくは推しワードのようですね。



P田●ファッションistaという「おしゃれ」な表現がむしろちょっとダサいのか？というくらいに思ってしまったたりして。



N松●全体的に派手なトレンドがない最近なので、こういうファッションの人がオシャレ！と分かりやすい人種が少ないかも。

2018年11月③洒落る

「トレンドファッションの合格点」っていうのは、簡単に出せる時代



H瀬●この4年くらいで**シンプル&カジュアル系のトレンドおしゃれの質は全体的に高まった**と思うんですね。今年ちょっと思ったのは、**ダボっとしたオーバーサイズトレンドだったのがデンション下げちゃった**かなと思います。吉祥寺のGUに行ったら、40代のオシャレなママ友にバッタリ会ったんですが、「スタイルいい人しか似合わないようなダボっとした服がトレンドで、うちら世代が買うものがなかった」とがっかりしていた。でも、スタイルの良い人が着ても素敵に見えないのは、ドラマを観てもわかる。

「獣になれない私たち」の新垣結衣、「僕らは奇跡でできている」の榮倉奈々、「黄昏流星群」の中山美穂、みんな**オーバーサイズのトレンドコーデ**してるんですが、ネットのコメントはけちゃんけちゃん。「ガッキーが一反もめんに見えた」とか「ガッキーも榮倉さんもデカイから本人よりも服の面積がすごい」とか、**モデル体型の美女まで殺すんだから、一般人が可愛く見えるのって難しい**と思う（笑）。唯一ファッションで評価されているのが「リーガルV」の米倉涼子。こちらはトレンドに迎合せず、ハイブランドでスタイルのよさを引き立てるファッションだからだと思うけど。とはいえ、「米倉涼子の乳の位置が下すぎて衝撃を受けた」という声も多くて、ピタッとしたコーデも最新の注意を払わないといけないのだけだ。



N松●先月の「イマドキ女性図鑑」で取り上げたグッチあたりのハイブランドとか、H&M×モスキーノとか、ド派手に振り切れているのはありますが、一般人にとっては、オシャレというよりそういう世界の最新ファッションを着ている人種、という感じかも（多分ほとんど人は、自分が今よりオシャレになってもその服は着ないだろうな…と思うのでは）。



H瀬●あれって、なんか衣装って感じですよ。そう捉えると**新しい市場なの**かもしれない。



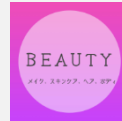
N松●ここの見出しの「洒落」「オシャレ」という言葉からは、どんなオシャレなのか、どんな人に見られたいのか、といったことが見えません。そういう具体的なことがなく、**なんとなく〜オシャレっぽい感じ、というのが今の最大のトレンド**なのかも。



H瀬●とりあえず「**トレンドファッションの合格点**」っていうのは、簡単に出せるようになりましたからね。その先の**欲望部分は、ファッションよりも美容が叶えてくれる**っていうのがあるのかもしれない。**化粧品市場がファッション市場を追い抜いた年**っていう**ニュースがありましたから、それが象徴的だった**のではないのでしょうか。とはいえ、コスメ分野でその欲望を叶えてくれているのが、欧米ブランドをはじめとするデパートコスメだったり韓国コスメだったりするのは日本企業のマーケティングがうかうかしていられないのはアパレルもコスメも同じだと思いますね。日本のブランド、頑張らねば！

2018年11月

キーワード④あざといモテ論



- ◆意外とマットリップ好き、実は厚塗りに気づいてる、肌や唇のツヤはテカリにしか見えてなかった！！ メンズ60人のリアルボイスで判明「僕たちが本当に好きなメイク」(美人百花11月号)
- ◆NGT48荻野由佳、mina初登場！ むしろモテちゃう塩顔メイク(mina12月号)
- ◆大学生 or 社会人 彼タイプ別 寄れる！“清楚モテ”メイク(non-no12月号)
- ◆オトコは“Lipと髪”しか見えないイキモノ(Scawaii!12月号)
- ◆結論、ワタシ清纯っぽmakeやります(Scawaii!12月号)
- ◆オトコ目線のラブイカラダ(Scawaii!12月号)
- ◆悪気がないのは分かってる…。だけどなんだか釈然としない。 \同世代男子の心の叫び／「実家の女」がなにかオカシイ！(JJ12月号)
- ◆大好評につき復活！ 公式SNSで1294人に大アンケート！ ViVi SEX白書2018(ViVi12月号)
- ◆西野カナ 29歳7カ月～恋愛の神様のあしあと～(MORE12月号)
- ◆夫にも「買ってもいいかなあ」と思う瞬間があるらしい！？ いい夫婦の日に考える記念日のジュエリー&ウォッチ(STORY12月号)
- ◆1限目・どれが一番いい出会いがあるか報告書(Scawaii!12月号)
- ◆2限目・LINE駆け引き必勝法(Scawaii!12月号)
- ◆3限目・男の浮気対策(Scawaii!12月号)
- ◆4限目・プロポーズは女の力の見せどころ(Scawaii!12月号)
- ◆R22 Feat.明日花キララ 好きな人をオスにする禁止手LESSON(Scawaii!12月号)
- ◆あなたの本命になりたいんです ~ただし半年以内に~(Scawaii!12月号)
- ◆愛をこめてウェディングリングと花束を——(MORE12月号)
- ◆プロポーズって、やっぱり最高(MORE12月号)

2018年11月④あざといモテ論

より良いオスをゲットして安心安全な人生に



H瀬●時期的にクリスマスが近いので、モテ系の見出しもあるんですが、これまたリアル。この一連の見出し、どれもすごく新鮮で面白かったですね。これだから見出し分析はやめられない！



P田●おしゃれへのテンションは低かったけど、モテへのテンションは、低温やけど的にじわじわあついですよね。パッと見はテンション低そうなのだけれど、じわじわと効いてくる本気のモテ欲求、モテ研究というかんじ。



H瀬●「ギョッ♡とされるニットでキュン♡」とかじゃなくて、めっちゃ具体的。先月の
◆2回目以降のデートには全身キメキメより、1点ユニクロ投入でメンズに親近感を “ あえてのユニクロ”がモテる説(美人百花10月号)
っていうのに近いかな。



N松●それ、インパクトありましたね～。ふんわりピンクとか白とか、分かりやすく女の子らしい（はっきり言えばぶりっ子っぽい）服を選ぶのではなく、誰をもウェルカムする親近感を演出するあえてのユニクロ、なんてかなり高度なあざとさですよ（笑）。



P田●今月はさらにこんなのも。
◆NGT48荻野由佳、mina初登場！ むしろモテちゃう塩顔メイク(mina12月号)
◆大学生 or 社会人 彼タイプ別 寄れる！“清楚モテ”メイク(non-no12月号)
清楚モテ、塩顔メイク、みたいに、ちょい地味な方がモテる、リアルなモテってそのへんなのかなあ永遠に…と思わされるネタがちりばめられています。



H瀬●女性誌定番の「ハーフ顔になりた〜い」っていうのと対極ですね。

2018年11月④あざといモテ論

より良いオスをゲットして安心安全な人生に



N松●男子はますます草食化、絶食化しているのに、女子は再び肉食化？「狩り」でも肉食動物がやる本能に基づく狩りではなくて、作戦を練って準備をして臨む狩人的な感じ。**あざといのも狩りも、どちらも計算ずく**なんですよ。

◆オトコは“Lipと髪”しか見えないイキモノ(Scawaii!12月号)

◆結論、ワタシ清纯っぽmakeやります(Scawaii!12月号)

この辺りの見出しには、「男ってしょうもない」という女子の認識が見えますが、しょうもない=分かりやすい、だから作戦を立てやすかったりする。必死に考えてアタック、ではなくて、分かってますよ～分かった上で落とすための仕事しますよ～って感じ。今どきの若者は、かつてないほど恋愛への熱量が低く、そもそも恋愛市場に参入しない人が多かったりするので、少ないパイの争奪戦ではあざとく行くようになるのも自然なことなのかも。

恋愛マニュアルとか恋愛がテーマのマンガや小説のメインターゲットは、常に女性。女性はとにかく恋愛に頭を使う生き物と言えます。そして現代でも「女の人生、男次第」というのが根強くあるので、恋愛や結婚に向かう際の対策や計画立てにかなり心を砕くもの。それが普通であるなかで、**あざといと殊更に言われる女子って、自分を価値があるように演出して、より良いオスをゲットして安心安全な人生にしようという、計画性や危機管理意識に優れた人種**と言ってもいいかも知れません。

「若者の恋愛離れ」を考える 「割に合わない嗜好品に」(朝日新聞デジタル)
<https://www.asahi.com/articles/ASKCV64JLKCVUPQJ004.html>



H瀬●この1、2年のファッション誌は、「貯金」「投資」などお金の話題も多いじゃないですか。このあざとい系のモテ論は、それと同じ文脈ですね。**これまでの女性誌の「恋愛」**っていうのは**違うジャンル**だと思う。新しいインサイトであり新しい市場だと思えますね。

2018年11月

キーワード⑤今年の食ブーム



- ◆パリパリ羽根&もちもちがおいしい！本格中華の冷凍食品で餃子パーティー！！(サンキュ！12月号)
- ◆まさか新型栄養失調！？(eclat12月号)
- ◆食材・食べ方次第でカラダは変わる 大人女子のための老けない・疲れない食べ方(MAQUIA12月号)
- ◆「ちゃんと食べてる」は勘違い！？ いま、カラダに足りないもの。(anan9/26号)
- ◆鉄／朝、体が重い人はいますぐ鉄を。(anan9/26号)
- ◆食物繊維／セニ不足で睡眠不足に！？(anan10/3号)
- ◆ビタミンB群／疲れやすい人はBが足りていない！(anan10/3号)
- ◆ビタミンD／Dを意識して、風邪をひきにくい体に。(anan10/3号)
- ◆亜鉛／亜鉛を摂ればめぐりがよくなる！(anan10/3号)
- ◆カルシウム、マグネシウム／イライラ、気分のムラを感じたら。(anan10/3号)
- ◆タンパク質／肌、髪、爪の傷みのもとはこれ！(anan10/3号)
- ◆DHA／集中力低下や物忘れが気になったら。(anan10/3号)
- ◆食べたほうがいいお菓子、あります！ からだにいいおやつBOOK。(anan10/3号)
- ◆生芋コンニャクスムージーにクロロゲン酸…トレンドまるわかり！ インナービューティ最旬トピックス。(anan10/3号)
- ◆調理の仕方激変！ 栄養を逃がさない、食材別・料理テクニックを教えます。(anan10/3号)
- ◆1万円以下で料理の腕が確実に上がるスグレモノ10選 プロも通う浅草・合羽橋の料理道具専門店の店主が選ぶ(日経WOMAN12月号)
- ◆料理ベタでも簡単に味がキマる！ うまみも栄養価もたっぷりでもいいことづくめ！ 秋のごちそう缶詰レシピ30(美人百花11月号)
- ◆おしゃれな缶詰も急増！ パスタやサラダだけじゃない「サバ缶」デリ風アレンジ(Mart12月号)
- ◆パスタやサラダが残されないためには？ 「ピカールの冷凍食品」なら超豪華に見える！ 盛りつけは「ザリーンのかご」におまかせ！ \失敗しない！ / 「年末パーティ」の新ルール5(Mart12月号)
- ◆缶入りクッキーの世界へようこそ(eclat12月号)

2018年11月⑤今年の食ブーム

ヒットしたのは「見た目」+「合理性」+「品質」



H瀬●去年から、**痩せるより食べるって**いう方向にクローズアップされたのが今年の総括としてありますね。



P田●**痩せるより食べる、痩せるより健康になる、みたいな流れ**のなかで、**美容とか健康**という意味での食に関しては、**マイナスするデトックス方向よりは、何かを摂る方向**にいていますよね（デトックスするためにも何かを摂る感じ）。



N松●**食べることを大切にしている人、食べることが好きな人**って「豊か」な感じがします。きちんと暮らす意識の高さというより、健やかで幸せそうな感じ。例えば、痩せたいと言って、食べるのを減らす人よりも、運動する人の方が絶対健やか。食って本能的な欲求だから、そこにまっすぐな人は生命力が高い気がします。ある食品メーカーの広告で、「食は人を良くする、と書きます」というのを見たことがあります、まさにそういうことなんでしょうね。変な食生活を送っていて心身ともに健やかな人ってきっといないはず。



H瀬●いわゆる**わかりやす〜い映えスイーツ**っぽいのが消えましたね。



N松●ビジュアル重視の派手なインスタ映えスイーツは、美味しくなかったり、食べにくかったり、体に悪そうだったり、ムダに高かったりで、「1回は食べてみたいけど1回でいいわ」という人が多そう。実際、1回どころか、写真だけ撮って食べずに捨てるという行動が問題視されたりもしました。**映えスイーツは、味わって楽しむ「食べ物」ではなく、SNSや話のネタにして楽しむ「ツール」として消費される存在**ですね。食トレンドとして、コッペパン・食パン・玉子サンド・パフェ・喫茶店など、ベーシックを通り越してレトロ方向へ、というのはまだまだアツい。こっちはこっちでインスタ映えするのですが。



H瀬●オシャレな缶詰とか冷凍食品とかは今年大きくなった流れかな。
◆おしゃれな缶詰も急増！**パスタやサラダだけじゃない「サブ缶」デリ風アレンジ** (Mart12月号)
◆**パスタやサラダが残されないためには？「ピカールの冷凍食品」なら超豪華に見える！盛りつけは「ザリーンのかご」におまかせ！\失敗しない！／「年末パーティ」の新ルール5**(Mart12月号)

2018年11月⑤今年の食ブーム

ヒットしたのは「見た目」+「合理性」+「品質」



P田●インスタ映えスイーツとか、インスタ映え弁当みたいなものより、サバ缶の方が熱い昨今ですね。私は料理をほとんどしないのでお料理関係のトピックが遅めだと思っ
たのですが、それでもサバ缶って私もおしゃれなやつをちょっとしたお遣い物にしたり
しますし、サービスエリアなんかですごくたくさんの種類しかも高いやつを売っていた
りして興味津津です。

毎日サバ缶を食べると健康になるみたいなのもテレビで見ましたが、今まで何十年も普
通に売られていたはずなのに、こんなにサバ缶が注目されるとは…。みんな好きで、定
番アイテムで、でもちょっと奥深くて、みたいなものに興味が行く気分。



H瀬●サバ缶は映えるデザイン缶が話題になりましたね。マルハニチロの【ラ・カンティ
ーナ】とか、岩手発の【Ça va (サヴァ) ?】とか。両方ともちゃんと「映え」て、しか
も中身は安心のサバ缶。手堅いビジネスだと思います。



N松●料理する人間にとって、缶詰やレトルト・冷凍食品を使うのは、手抜きしている
という後ろめたさだったり、非常食を日常遣いするような違和感が根強かったと思いま
すが、それが薄れつつありますね。それぞれグルメ志向の品質になったり、ネットでア
レンジレシピを見つけられるようになって、今までとは違う位置づけになってきている。
缶詰の中身をそのまま食べるのはさすがに手抜きだしセンスゼロだけど、例えば流行っ
ているサバ水煮缶をイタリアンっぽくアレンジとかしちゃうと、むしろ料理上手な人っ
て感じ。

ピカールなんて、冷凍食品じゃなくてフランスのおしゃれフードがたまたま冷凍だった、
みたいな感じすらあるし。



H瀬●ピカールご存知ない方はこちらを。

◆フランスの新業態スーパー「ピカール」、ついに日本初上陸！ 背景にイオンの高品質
化戦略

<https://hbol.jp/117959/2>

抜粋すると、

・「ピカール」はフランスに本社を置くスーパーマーケットチェーンで、現在ヨーロッ
パ5ヶ国に約1000店舗を展開している。

・このピカールが従来のスーパーマーケットと大きくことなるのは、販売される殆どの
商品が「冷凍食品」だということだ。

・「冷凍食品」と言っても、ピカールの冷凍食品は厳選された食材を用い、保存料を使
っておらず、「安心」「安全」を一番のウリにしていることが特徴。

2016年末に本格上陸したんですが、今も引き続き売れてるんですね。今年の前半、品
川のエキュートにポップアップショップが出ていたのですが、すごい人ばかりでした。

2018年11月⑤今年の食ブーム

ヒットしたのは「見た目」 + 「合理性」 + 「品質」



先ほどのリンクに

・フランスはヨーロッパ諸国のなかでも女性就業率が非常に高いことで知られるが、その女性就業率の高さを支えているのが「ピカール」なのだ。
とあるのですが、**去年から今年にかけて「働く女性」周りの市場が盛り上がりました。**パナソニックも「ふだんプレミアム」から「家事シェア」に変えてきたし。そういう外部環境があってピカールの上陸時期はまさにぴったりだったのかも。



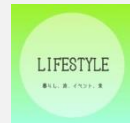
N松●丁寧な暮らしっていうのとは逆かも知れないけど、**自分が丁寧にしなくても商品が丁寧に仕上がってくれている。**そういうモノを上手く活用することは、**手抜きではなく合理的、**という考え方に変わりつつあると思います。色んな生活スタイルの人がいるわけだし、**合理的な製品を活用するのも、限られた時間や体力のマネジメントの一環**なのでは。



H瀬●オシャレサバ缶もピカールも、**引き続きフードの見た目至上主義は続いていること**は確か。でも、「**見た目**」に加えて「**合理性**」と「**品質**」が備わっているものが**求められている**し、今年はそのようなものがヒットしたということですね。

2018年11月

キーワード⑥「視覚欲求」から「体感欲求」へ



- ◆最適「たるみ原因つぶし」で10歳若見え！（からだにいいこと12月号）
- ◆「皮膚ねじり」で20代の美腹が手に入る！（からだにいいこと12月号）
- ◆そのシュワツと感に美肌の秘訣あり 泡の力でキレイになる(MAQUIA12月号)
- ◆働く女子こそ、泡コスメが最高かよ！！(MORE12月号)
- ◆脚もウエストもデコルテも見事にほっそり 神崎 恵 直伝 麵棒ゴリゴリ 筋膜リリース (MAQUIA12月号)
- ◆美顔器は痛いくらいがちょうどいい(美ST12月号)
- ◆カラダだって変わるのなら、たるみもトレーニングでなんとかなる！ 美容の新発想「顔だって筋肉でできている」(STORY12月号)
- ◆朝の唇アイロンでほうれい線を消す！ ほうれい線を薄くするカギは「唇」にあり！（日経Health12月号）
- ◆夜のぐりぐり！ 顔筋ほぐし 顔の凝りを取って頬・あご・目元のたるみ&むくみを消す！（日経Health12月号）
- ◆10秒ツボナージュ くすみ、疲れ目を解消し、肌ツヤ&ハリを高める(日経Health12月号)
- ◆1日5分、“ながら”でできる！ 足パカダイエット(anan10/24号)
- ◆運動しないあなたに贈る！ 阿佐ヶ谷姉妹とドタバタ?! ずぼらヨガ(anan10/24号)
- ◆1分ねじれば全身引き締まる！ 体芯ねじり体操(anan10/24号)
- ◆きれいな人の「ヘル活」が知りたい(ELLE japon12月号)

2018年11月⑥「視覚欲求」から「体感欲求」へ

つぶし、ひねり、ゴリゴリ、ぐりぐり、痛いくらいがちょうどいい



H瀬●なんか、痛そうな感じとか、体感できるセルフマッサージが増えてますね。

- ◆美顔器は痛いくらいがちょうどいい(美ST12月号)
- ◆最適「たるみ原因つぶし」で10歳若見え！(からだにいいこと12月号)
- ◆「皮膚ねじり」で20代の美腹が手に入る！(からだにいいこと12月号)
- ◆夜のぐりぐり！顔筋ほぐし 顔の凝りを取って頬・あご・目元のたるみ&むくみを消す！(日経Health12月号)
- ◆脚もウエストもデコルテも見事にほっそり 神崎 恵 直伝 麵棒ゴリゴリ 筋膜リリース(MAQUIA12月号)
- ◆1分ねじれば全身引き締まる！ 体芯ねじり体操(anan10/24号)



N松●つぶし、ねじり、ゴリゴリ、ぐりぐり…ヒトの体や、ましてや顔をそんな風に…！？と思わず顔が歪んでしまう美容法がいろいろ。



P田●つぶし、ねじり、ぐりぐり、ゴリゴリ、キレイなあの方が耐えているのなら、私も…という気持ちにさせられます。

美容に痛みはつきもの、みたいな説って何となくぐるぐる廻ってくるイメージがありますが、この秋ちょっとそんな気分なんですね。



N松●先月の新製品で紹介したオルビスユーなど、スキンケアでも「鍛える」というコンセプトのものが出たり、ここの見出しにあるようなキツめのパワー系お手入れも、筋トレブームの流れでしょうか。



P田●筋トレの手ごたえ、みたいなものより、マッサージの痛みの手ごたえの方が今月の気分のようなですね。痛なくて効けばそれに越したことはないはずなのに、なんだか頑張っている手ごたえみたいなのがほしいのが女ごころといったところ。



N松●ライザップが流行りだしたあたりから、「キツイけどちゃんと成果を上げる」ダイエットやトレーニングが注目されるようになったと思います。費用も中途半端ではなく何十万もするから、ぬるい気持ちではできません。クロスフィットなどもものすごくハードだけど流行中。そんなストイック系の一方で、ずぼらヨガのようなのも人気ですね。でもこれってヨガのずぼらバージョン(10を3にするような)ではなくて、全然運動したくない人が、「ちょっと動いてみるか…」と0を3にするプラスのエクササイズなのかなと思います。そういう意味ではストイック系と負荷が違うだけで、どちらの人も「鍛えたい人」なんですよ。

結局、食事でダイエットするよりも、運動しちゃった方が早いというか、成果が分かりやすかったり、気持ちが前向きになったり、もっと上手くなりたいという向上心が生まれたり、複数のメリットがあることに多くの人が気づいたのかなと思います。それもこれも、やっぱり「体感」するからこそなんですよ。こんなにゴリゴリやったんだから、何も効果がないわけない、という期待も体感あってこそ。

2018年11月⑥「視覚欲求」から「体感欲求」へ

つぶし、ひねり、ゴリゴリ、ぐりぐり、痛いくらいがちょうどいい



H瀬●「体感」、まさにですよね。「くっつき感じる」っていうのに飢えてるのかも。ここ数年、「映え～」と視覚の方に集中していたから、他の感覚の刺激に飢えてきたっていうのはあるんじゃないかな。化粧品も、「くっつき感じる」っていう意味で泡とかテクスチャーが面白いものが新鮮に見えてきたっていうのはある気がする。

◆そのシュワツと感に美肌の秘訣あり 泡の力でキレイになる(MAQUIA12月号)

◆働く女子こそ、泡コスメが最高かよ！！(MORE12月号)

「美容液でほうれい線消す」と言われるとインチキくさーいと思っちゃうけど、「唇アイロンでほうれい線消す」と言われると、ありそうな気分になったり。

◆朝の唇アイロンでほうれい線を消す！ほうれい線を薄くするカギは「唇」にあり！（日経Health12月号）

「視覚欲求」の時代が続いたからこそ「体感欲求」が出てきているんでしょうね。これからの企画のヒントになりそうです。

参考★体感欲求を刺激する系の新製品が、続々と出ています。

口の中から表情筋へアプローチする。ライオンの新しい美容機器「VISOURIRE」

<https://www.makuake.com/project/visourire/>

女性用のSIXPAD

<https://www.wwdjapan.com/743466>

2018年11月

キーワード⑦危機管理意識



- ◆この先、ママになっても着られる「5年コート」は今が買い時！？(JJ12月号)
- ◆大学4年生だったら卒業後のことも考えなきゃ 社会人になっても使える大人服(Ray12月号)
- ◆今日から実践して10年後も美髪をキープ 20代からのヘアロス問題！！(SPRING12月号)
- ◆「ベース顔の人はたるみやすい」「キツネ顔美人はシワシワになりやすい」etc. 顔の形や遺伝はもちろん、生活習慣によっても老けパターンが見えます！ まずは100の質問に答えて！ 知ると怖い！ 10年後の「老け方占い」(美的12月号)
- ◆「金持ちおばあちゃん」になる 金運・貯金・節約 50の知恵(からだにいいこと12月号)
- ◆“実は未来への種まきができる贅沢な時間かも？” 私たち、今は専業主婦です！(VERY12月号)
- ◆きっと一生ものどころか形見レベルで価値がある 特別な大人になりたいから「50歳までにゴールドウォッチ」(STORY12月号)
- ◆終の棲家はどこにする？ いくら必要？ 自宅、有料老人ホーム、サ高住——住まい別にかかるお金をシミュレーションすると 長沼和子(婦人公論11/13号)

2018年11月⑦危機管理意識

50代と20代、未来への想いの違いとは



H瀬●みんな未来のことすごい考えている。



P田●未来がすごい未来だなあと思った今月。おばあちゃん、老後、そして死後！？（形見ジュエリー）。



H瀬●そうそう、今回、もっともグッときたのはこちら。

◆きっと一生ものどころか形見レベルで価値がある 特別な大人になりたいから「50歳までにゴールドウォッチ」(STORY12月号)

2008年のリーマンショック以来、意味なく高いものを買うのはダメというのが日本の女性に染み付いちゃってるので、ジュエリーや時計を買うときには「自分へのご褒美」とか「投資」とかいちいち言い訳を言わなくてはいけなかったわけです。

2018年、ついに「形見になる」というのが出て、次のステージにきたなって感じがしましたね。



N松●長寿化、少子化、独身率、異常気象や自然災害の多発。現在でさえあれもこれも「未曾有の」という枕詞がつくほどで、世界中どこも経験したことのない未来が日本人を待っています。健康の心配、お金の心配、生き方死に方…人生が長くなっているからその不安や備え、アツいテーマですね。大人がこういう心配をしているのを見ているから、子世代も堅実な考え方をするようになってたり。

◆この先、ママになっても着られる「5年コート」は今が買い時！？(JJ12月号)

◆大学4年生だったら卒業後のことも考えなきゃ 社会人になっても使える大人服(Ray12月号)

この堅実さ！トレンド服をシーズン毎に使い捨てるファストファッションが当たり前の世代でも、こんな気分なのです。10年、20年前なら、素材も仕立ても良くていいお値段のコートを5年どころか一生モノとして買おうという提案がありましたが、先月の弊誌のキーワード①「2018年秋ファッション」でも言及したように、最近はトレンドのデザインでお手頃価格のコートを選ぶのが当たり前なので、ちょっとびっくりしました。



H瀬●20代雑誌がすごい。



P田●社会人になっても着られる服のRayなんてかなりかわいい未来ですよ。JJは少し気が長い？もしかしてすぐ結婚する気なのか？

2018年11月⑦危機管理意識

50代と20代、未来への想いの違いとは



N松●「ママになっても着られるコート」なんて、キャッチとしては面白いけど、実際に要るのは、だっこした赤ちゃんごと包み込めて、子供が毛を吸い込まないようにファーがついてなくて、よだれや食べこぼしで汚されるから家で洗えて、公園でしゃがんだ時に裾が汚れない丈で…って、もうファッションじゃないですよ（笑）。JJ読者には、ママになっても着られるなんてことを考えずに、今しか着られない服を着ておきなさい、と言いたくなる老婆心。リアリティを無視して未来に備えるなんてことができないのがファッションなんですよ。

ファッションは、24時間・365日自分にくっ付いている顔や髪ほど、その人のアイデンティティを左右するものではなかったり、機能性で選んだりもするものですが未来志向になるのには驚きです。



P田●先日、会社の部内会議で20代の子が「テレビで中尾彬夫妻の終活を見て自分もものに捨てたりし始めました。終活興味あります」と言っていて、おののきました。まあ、老後とか病気がかが遠く感じるその世代の方が終活やります～とか言えちゃうのかも知れませんが。



N松●危機管理意識をもって備えた方がいい、という認識、どんどん高くなっていると思います。面白いのは、いや難しいのは、未来に備えるためにモノを増やすこと（防災グッズなど）と、モノを減らすこと（終活のための断捨離など）の両方が必要であるということですね。「いざという時のために取っておくべし」「消費は美德」だった昭和が終わって早30年が経つわけですが、むしろたかだか30年ぐらいで、断捨離とかミニマリズムとかシェアリングエコノミーのように価値観が逆転するなんてすごいことです。もうすぐそんな平成も終わって新時代になりますが、さらに変化スピードはアップするに違いないし、未来に備えることはさらに必要になるけれど、その難しさは増すかも知れないですね。



P田●NHKなんか見ていると、延命措置をするかどうか、みたいなことについてかなりリアルに番組が作られているのをみましたし、老いていく層がボリュームゾーンになっていく日本では、中高年だけでなく、老いることとか老後とかが誰にとっても気になる、すぐく場所を取るトピックになっていくのだなあとしみじみ思ったのでした。

2018年11月⑦危機管理意識

50代と20代、未来への想いの違いとは



H瀬●オリンピックが2020年ですけど、その5年後には国民の3人に1人が65歳以上、5人に1人が75歳以上という「2025年問題」っていうのを抱えています。もっと未来になると、2060年でいちばん多い年齢層は86歳（86歳の女性が70万人強）というのがあるんですよ。

やはり一番多いターゲットが興味がある情報が世の中に流通するから、「老後の危機管理情報」がやたら豊富になって若い人も引っ張られてしまうんですね。

「将来のヘアロス問題」を考えたり、「ママになっても着られるかどうか？」考えたり、20代にそういう気分を後押しする提案は、将来のことを何にも考えなかった20代を過ごしてきた世代としては違和感がありますよね。N松さんも老婆心って言ってたけど、私も同感。若い層には、今を楽しく生きてもらえるような提案したいです。

が、消費者が将来への危機管理までフォローした提案の方が嬉しいのであれば、それに応えられるようにしなければいけないのかな？そのインサイト、今回たまたまなのか、引き続き踏襲されるのかは気をつけて追っていきたいと思います。

一方で、「形見」とか言ってる50代（バブル世代）の方は、全然悲壮感ありませんね。高級ブランド品を買う言い訳なら最早なんでもいいんだ〜と、図太さを感じる。この人たちが高齢化社会をグイグイ引っ張って明るいものにしてくれることに期待するし、女性ビジネスのマーケターがその仕掛けをしていかなければ！と思います。

2018年11月のトレンド分析カチェック問題

解答はこちら！

Q1：「美人」「きれい」「オシャレ」が最終目標じゃないそのあとの○○○○○が知りたい

A：そのあとのベネフィットが知りたい

Q2：共感と呼ぶためのリアル表現のためには「○○○たい人のリアル」と「○○○たくない人のリアル」を使い分ける必要がある。

A：「頑張りたい人のリアル」と「頑張りたくない人のリアル」

Q3：「トレンドファッションの合格点」が簡単に出来る今の時代に注意すべきなのは、おしゃれと○○○○○人とおしゃれに○○○○○人の2種類がいること

A：おしゃれと言われたい人とおしゃれに見えたい人の2種類がいる

Q4：男ウケ重視のあざとい系女子の目指すべき顔は？

○顔や○○顔

A：塩顔、清楚顔

Q5：今年ヒットした食の特徴は「○○○」+「○○○」+「○○」

A：「見た目」+「合理性」+「品質」

Q6：インスタ流行によって「視覚欲求」が高まったが、その反動で「○○欲求」が注目されている。

A：体感欲求

Q7：世代によって未来のとらえ方が違う。20代は○○○○、50代は○○の○○○

A：20代は危機管理、50代は消費の言い訳